

(様式 2)

令和6年度佐賀大学戦略的PSプロジェクト報告書

令和7年 4月 2日

国際交流推進センター長 殿

申請者 (代表申請者)

部 局 名 農学部

職 名 教授

氏 名 藤村美穂

下記のとおり報告します。

1. 大学間交流協定校 (国・地域)	ペラデニヤ大学 (スリランカ)		
2. 種別	A国際共同研究型 ⑥ 国際共同教育型		
3. 実施代表者	藤村美穂	4. 所属・職名	農学部・教授
5. 連携部局	農学部・経済学部		
6. 国際共同 (教育) 研究 課題	気候変動下における農村開発に資する人材育成		
7. 令和6年度の実施内容	シンポジウム、共同教育の可能性についての事務的打合せ、サンド イッチプログラムの試行、課題の確認		
8. 参加者数 ※参加者名簿も併せてご 記入ください	参加者数 43 名 内、教員・研究者数 11名、学生数 32名		
9. 事業を通じて得られた 成果及び今後の計画 ※事業実施の様子につい て、写真を3枚程度提供 ください	【成果】 ①シンポジウムを開催し、(一部の分野に限られたが) 互いの学生 交流ができた、②佐賀大学の教員および事務とペラデニヤ大学側と のワークショップを開催し、今後の教育体制について事務的確認 (情報共有) を行った結果、修士のダブル・ディグリー、学部のサ ンドイッチプログラムなどが制度的には実施可能であることを確認 した、③サンドイッチプログラムの試行として、農学部でペラデニ ヤ大学農学部学部生 (4年生) 2名の受け入れを行った。 これらについての資料も添付します。 【令和7年度】 ①共同教育のシステム作りを開始することを双方の大学の学部で周		

	知する、②シンポジウムを続けて相互の研究・教育内容の理解を促進する、③修士課程のダブル・ディグリーの手続きに向けての具体的なロードマップを作成する、④修士、学部生の共同教育のプログラム案の作成とともに、試行的に実施する（とくに日本人の修士の派遣を行う）、⑤客員教授などの手続きをして体制を整える。 【令和8度以降】 ①引き続きシンポジウムを続けて相互の研究・教育内容の理解を促進するとともに、共同教育（試行）の成果の報告会を行う、②修士課程のダブル・ディグリーの手続きを進める、③分野やコースなどの間で具体的なプログラムを作成する。
10. 支出額	金 額 908824 円 (内訳) 謝金 51600 円 (具体的に：シンポジウム運営およびスリランカ人学生の調査補助に、日本人学生1人、スリランカ人留学生2人) 旅費 円 (海外渡航費25万690円×(日本→スリランカ)研究者1名 海外渡航費42万988円×(スリランカ→日本)研究者3名 県内研修費4406円) 消耗品費 181140 円 (具体的な使用用途：招聘者用の通信手段=SIM,ルーター、資料印刷のためのプリンタインク、記録用媒体) 雑役務費 0 円 (具体的な使用用途：)
11. 他の外部資金等への申請状況	令和7年度については、日本人学生派遣のためにJassoが採択されている（農学部・経済学部）。プログラム作成のためにクリタなど複数の研究助成に応募の準備をしている。学生受け入れための助成については、国際課に相談の上、応募予定。
12. 実施者アンケート	
本事業の満足度（5（非常に良い）～1（非常に悪い））：4（国際課が相談に親身に対応していたので、事業を進めるモチベーションが維持できました） 支援経費は適切であったか（5（非常に適切であった）～1（非常に適切でなかった））：3（学部学生のために使える経費に関する情報または体制が不足していた）	

次年度以降も本事業の実施を希望するか：☒希望する・☐希望しない

そのほかコメント：

※欄内に収まらない場合、適宜、行を追加し、ページを増やしていただいても構いません。

※写真は学内外へ発信する広報に活用するため、映っている方々からの使用許諾済みのものをお送りください。また、写真データ（jpg または png）の送付をお願いいたします。（Word 貼付けとは別に）